

第三十二回

「壺の碑」全国俳句大会

令和七年十月十二日（日）東北歴史博物館

特別選者 西村 麒麟

講演 演 「虚子と芭蕉」



【略歴】

西村麒麟 「麒麟」主宰、「古志」同人。
一九八三年大阪府生れ、広島県尾道市育ち。江東区在住。二〇〇五年「古志」入会、長谷川權に師事。二〇〇九年第一回石田波郷俳句新人賞受賞。二〇一四年第五回田中裕明賞受賞。二〇一六年第七回北斗賞受賞。二〇一九年第六十五回角川俳句賞受賞。二〇二三年俳句結社「麒麟」創刊。二〇二五年第七十五回芸術選奨新人賞受賞。句集に『鶉』『鴨』『鴈』。

「爰に至りて疑なき千歳の記念、今眼前に古人の心を閲す。行脚の一徳、存命の悦び、羈旅の労をわすれて、泪も落るばかり也」（『おくのほそ道』より）

この壺の碑への芭蕉の感動に思いを馳せながら、第三十二回「壺の碑」全国俳句大会を開催いたします。特別選者には、西村麒麟先生をお迎えします。また、地元選者として、西山睦、成田一子、高橋健文の各先生をお迎えする予定です。実行委員長 高野ムツオも選を務めます。皆様お誘い合わせの上、奮ってご応募ご参加下さいますようご案内いたします。

※内容は多賀城市のホームページでご確認できます。

日時◆

令和七年十月十二日（日）

午前十時～午後四時三十分

（俳句大会受付開始…午前九時三十分）

会場◆東北歴史博物館

宮城県多賀城市高崎一―二―

（JR東北本線 国府多賀城駅 隣り）

主催◆「壺の碑」全国俳句大会実行委員会

投句先（事務局）

宮城県多賀城市下馬三丁目七―一―三〇一

TEL/FAX 〇二―三六五―〇四九二

共催◆多賀城市・多賀城市教育委員会

協賛◆多賀城市観光協会、七ヶ浜町、多

賀城・七ヶ浜商工会、芸術銀河協賛事業

後援◆（公社）宮城県観光連盟、仙台・

宮城観光キャンペーン推進協議会、宮

城県俳句協会、宮城県現代俳句協会、

俳人協会宮城県支部、河北新報社、読

売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、

毎日新聞仙台支局、NHK仙台放送

局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤ

ギテレビ、knb東日本放送、Dat

e fm、エフエムバイエリア株式会

社、宮城ケーブルテレビ株式会社

選者

俳誌「麒麟」主宰 西村 麒麟

俳誌「駒草」主宰

俳誌「滝」主宰

俳誌「好日」主宰

俳誌「小熊座」主宰

高野ムツオ

小・中学生の部・投句要領

五
五
の
音
打

「壺の碑」全国俳句大会
事務局宛

投 句 料 一 組 一、〇〇〇円（無記名の定額小為替等を同

封。ただし、何組でも応募できます。

投句方法 応募用紙(四百字詰原稿用紙でも可)に作品三句

投句方法 応募用紙(四百字詰原稿用紙でも可)に作品三句以内

住所、氏名、俳号、所属結社、電話番号を楷書で記入の上、投句料を同封して郵送してください。

住所、氏名、学校名、電話番号を楷書で記入の上、郵送してください。

※受付後の句の訂正・変更は不可。

賞 特別奨励賞 一〇名 佳作 若干名

賞
選者賞
特選第一席、特選第二席、特選第三席

※小中学生の部の表彰式は十月十三日（月）祝日

小・中学生の部・選者

大会実行委員会

高野ムツオ 小野豊

きりとり

小松温美
神野礼子

※一般と小中学生との締切日が異なります。ご注意ください。

投句締切（当日消印有効）

一 般 令 和 七 年 八 月 十 五 日 (金)

小中学生 令和七年九月 十日(水)

※切取って宛名としてご利用ください。
※投句用紙は、一般の部・小中学生の部共通です。

電話 〇二二—三六五—〇四九二

二九八五—〇八三五

宮城県多賀城市下馬三丁目七一―一三〇二

小松温美方

投句先

住所		〒	
都道府県		（ ）	
電話番号		（ ）	
姓	号	ふりがな	
有・無		大会当日参加の有無	
所属結社（小中学生は学校名・学年）			

No.

3

2

1

1 組 1,000 円

No.

③	②	①
---	---	---

1組 1,000 円

- コピーまたは400字詰原稿用紙でも可。
- 学校毎の応募には別に校名・住所・担当教員名・応募数を記入の上、添付ください。その場合、投句用紙の住所欄は空欄でも可。